

「情報事業担当者のための課題解決・実践研修」

2018年度 実施報告書

特定非営利活動法人全国女性会館協議会御中
 下記のとおり、報告いたします。

報告日 2018年 11月 30日

1 施設概要

施設名	川崎市男女共同参画センター（すくらむ21）	
代表者名・職名	館長：新村 富喜子	
住所	（〒213-0001） 神奈川県川崎市高津区溝口2-20-1	
	電話 044-813-0808	FAX 044-813-0864
担当者名・職名	主担当 事務局 事業企画チーム 尾曲 美香	
	E-mail mika.omagari@scrum21.or.jp	

2 事業の概要

事業名	情報事業に携わる人のための課題解決・実践研修 「男女共同参画センター・女性センター等の情報事業を再構築する」
趣旨、ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センターや女性センター等における情報事業の現状と課題を把握し、時代と地域のニーズに合った情報事業を再構築する力をつける。 それぞれのセンターで実施している情報事業を棚卸しし、今後の展開の方策を見出す。
対象者と定員	男女共同参画センター・女性センター等の情報事業担当者、 行政の男女共同参画担当者、図書館員、 男女共同参画センター等の情報事業に関心のある人など 定員：30名
実施日	2018年11月8日（木）、9日（金）
プログラム概要	<p>◆11月8日（木）13:00～17:00</p> <p>◎オリエンテーション（13:00～13:10） ・研修のねらいとプログラムの紹介、参加者紹介等</p> <p>◎講義1（13:10～14:10） 「男女共同参画センターにおける情報事業の現状と課題 —男女共同参画センターにおける情報事業の全体像を把握する— ・男女共同参画センター・女性センターにおける情報事業の位置づけと役割、 情報事業の現状と課題 講師／桜井陽子（特定非営利活動法人全国女性会館協議会顧問）」</p>

	<p>◎ワークショップ1 (14:20~16:00) 「情報事業の棚卸しと情報事業の一覧マップの作成 (ワーク)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自センターで実施している情報事業の一覧を作成し、その成果を自己評価、現時点の課題を抽出 ・作成した情報事業の一覧をもとに、情報事業をカテゴライズし、男女共同参画センター・女性センターの情報事業全体を把握するマップを作成 <p>ファシリテーター／尾曲美香 (川崎市男女共同参画センター)、桜井陽子</p> <p>◎講義2 (16:10~17:00) 「男女共同参画センターが発行すべき情報誌とは？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各センターで発行される情報誌を事例に、魅力的な誌面企画、スマホ時代の紙媒体の役割・意義を検討 <p>ファシリテーター／尾曲美香</p> <p>◎研修終了後</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内案内 (17:10~17:30) ・情報交換会 (18:00~20:00) <p>◆11月9日 (金) 10:00~15:00</p> <p>◎講義3 (10:00~11:00) 「SNS活用の現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebook、twitterなどの活用法とその成果、課題を把握 <p>講師／作部径子 (越谷市男女共同参画支援センター職員)</p> <p>◎講義4 (11:00~12:00) 「NWE C活用法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地の男女共同参画センターが活用できるNWE Cの情報関連サービスを徹底紹介 <p>講師／細川芽 (独立行政法人国立女性教育会館情報誌情報課長)</p> <p>◎ワークショップ2 (13:00~13:30) 「情報事業マップの発表と意見交換 (グループワーク)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前日のワークショップ1で作成した情報事業全体のマップを発表し、全員で意見交換 <p>ファシリテーター／尾曲美香、桜井陽子</p> <p>◎ワークショップ3 (13:30~14:30) 「情報事業の再構築 (個人ワーク)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの講義、ワークショップを踏まえ、自センターの情報事業をセンター全体の事業、地域の社会資源との連携・協働の関連から再構築し、自センターの次年度情報事業の事業計画を作成 <p>ファシリテーター／尾曲美香、桜井陽子</p> <p>◎意見交換 (14:30~15:00) 「男女共同参画センター・女性センターにおける今後の情報事業」</p> <p>ファシリテーター／桜井陽子</p>
--	---

実参加者数	17名
アンケート結果の概要	別紙の通り
担当者所感	<ul style="list-style-type: none"> • 講師の先生方には、情報事業の基本的な考え方から、SNS、NWECの先駆的な活用事例まで、幅広くご講義をいただきました。参加者にはそれぞれ、自分のセンターで実践できるアイデアを持ち帰っていただくことができたのではないかと感じている。 • 研修プログラムの企画の段階から携わることができ、当センターがとくに課題に感じていた情報誌について1コマ講義を設けさせていただきました。参加者のみなさんと情報誌に特化して意見交換することができたのは大変意義深かった。紙の情報誌をWEBマガジンに移行させたセンターからの参加者もあり、紙媒体のメリット・デメリット、そして今後のあり方を議論することができた。即時性が強みのSNSのご講義とあわせ、研修全体として、情報の提供媒体について考える機会となったと認識している。 • 今回、参加者は17名であった。各センターの好事例をたくさん共有するためにも、より多くの参加を促すような広報の工夫が必要だった。また、男女共同参画センターからの参加者がほとんどを占めたが、近隣の図書館員や、市民活動センター等の中間支援組織からの参加もあれば、他機関と連携した情報事業の展開をより深く検討できたかもしれない。 • 全国の男女共同参画センターのみなさんと好事例やノウハウを共有し、情報交換する貴重な機会となった。それぞれ限られた資源のなかで、創意工夫しながら情報事業を担当されており、みなさんとの交流の中で大変励まされた。その意味では、感想にも寄せられたように、よりたくさん意見交換の時間を設ける必要があった。議論のなかで、SNSを用いた全国のセンターの連携イベントのアイデアが出され、男女共同参画センター間のさらなる連携の可能性も感じた。今回の研修を機に、今後こうした繋がりが盛り上がっていきなれば嬉しく思う。